

都賀公民館便り

平成29年10月号

1 館長挨拶

日本の暦は明治時代から**太陽暦(新暦)**が使われるようになりました。地球が太陽の周りを一周(公転)するのにかかる日数を365日と計算し、「文明開化」を機に導入されました。(旧暦の明治5年12月3日を明治6年1月1日とした。)

それ以前の時代は、**太陰暦(旧暦)**が長く使われてきました。太陰暦は、月が地球の周りを一周(公転)するのにかかる日数を29.5日と計算し、12月を1年としました。また、1年を24節気に分け、**2月3日**のような区切りを**節分**とよび、区切られた期間を**春・夏・秋・冬**とし、日本の四季を表わしてきました。

2月	4日(立春)	寒さは厳しいけれど、陽射しが春めいてくる頃
	18日(雨水)	雪から雨へと変わり、降り積もった雪がとけだす頃
3月	5日(啓蟄)	冬籠りから目覚めたカエルや蛇が穴から出る頃
	20日(春分)	昼夜の長さが同じになり、陽が延びていく頃
4月	4日(清明)	動植物のすべてが春の息吹を謳歌する頃
	20日(穀雨)	やわらかな春雨に農作物が潤う頃
5月	5日(立夏)	新緑に彩られ、さわやかな晴天の夏が始まる頃
	21日(小満)	すべてのものが成長し、天地に満ちあふれる頃
6月	5日(芒種)	穀物の種をまく時期で、田植えの頃
	21日(夏至)	1年で最も昼が長い日で、夏の折り返し地点
7月	7日(小暑)	梅雨明けが近く、だんだん暑さが増していく頃
	23日(大暑)	暑さが最も厳しくなる頃。小暑と大暑の頃が暑中
8月	7日(立秋)	残暑が続くが、秋の気配が漂いだす頃
	23日(処暑)	朝晩の涼しさに初秋の息遣いを感じる頃
9月	7日(白露)	草花に朝露がつき、秋の趣が深まる頃
	23日(秋分)	昼夜の長さが同じになり、陽が短くなる頃
10月	8日(寒露)	草木に冷たい露が降り始める頃
	23日(霜降)	早朝に霜が降り始める頃
11月	7日(立冬)	木枯らしが吹き、冬の訪れを感じる頃
	22日(小雪)	野山に初雪が舞い始める頃
12月	7日(大雪)	山の峰々に雪がかぶり、平地にも雪が降る頃
	22日(冬至)	1年で最も昼が短い日で、冬の折り返し地点
1月	5日(小寒)	池や川の氷が厚みを増し、寒さが厳しくなる頃
	20日(大寒)	寒さが最も厳しい頃。小寒と大寒の頃が寒中

2 文化祭の日程およびプログラム

日時 平成29年10月28日(土)・29日(日) 10時から15時
場所 千葉市都賀公民館

○開会式 28日(土)10時2階講堂

- 1 開会のことば
- 2 クラブ連協会長挨拶
- 3 都賀公民館館長挨拶
- 4 来賓祝辞
- 5 来賓紹介
- 6 閉会のことば

○発表の部 第1日目(28日)

午前

- 10:15 お神楽(作草部神社神楽連)
10:50 舞踊(扇成海会・高波会他)
合唱(草の音)
11:20 舞踏(扇成海会)
合唱(草の音)

12:00 昼食

午後

- 13:15 合唱(つばきの会)
13:35 舞踏(高波会)
合唱(親交賢人会)
14:15 舞踏(扇成海会)
14:30 フラダンス(フラワーサークル)
14:45 終わりのことば
抽選会

○第2日目(29日)

午前

- 10:03 HIPHOPダンス(リトルミックス)
10:30 舞踏(扇成海会・高波会)
10:50 カラオケ(都賀カラオケ同好会)
11:30 大正琴(和楽部会)

12:00 昼食

午後

- 13:00 空手演武(キッズ・ジュニア空手)
特別出演コンサート(先生)
13:55 舞踏(扇成海会)
14:00 舞踏(高波会)
14:15 カラオケ(都賀カラオケ同好会)
14:45 フラダンス(フラワーサークル)
15:00 閉会式
抽選会

○閉会式 29日(日)15時2階講堂

- 1 閉会のことば
- 2 クラブ連協会長挨拶
- 3 都賀公民館館長挨拶
- 4 閉会のことば

